

MRワクチン

【麻疹 風疹について】

麻疹 (Measles) : 麻疹ウイルスの空気感染によっておこります。感染力が強く、免疫がない場合、殆どの人が感染し発症します。咳、鼻水、結膜の充血、眼脂などを伴う38℃以上の発熱が3～4日続き、一旦解熱しかけた後、再度高熱となり全身性の発疹が現れます。高熱は4～5日続き気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎等を合併することがあります。感染から回復期にかけて免疫機能が低下するため細菌感染も併発しやすくなります。

まれに亜急性硬化性全脳炎 (SSPE) という慢性に経過する脳炎を発症することもあります。

麻疹は数千人に1人の割合で死亡する病気です。

風疹 (Rubella) : 風疹ウイルスの飛沫感染によっておこります。発熱、全身の発疹、後頸部リンパ節腫脹、眼球結膜の充血などがみられます。通常3日程度で回復しますが、大人は重症になりやすいといわれています。合併症として関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されています。

妊娠早期にかかると胎児が先天性風疹症候群 (白内障、心臓疾患、聴力障害、発達遅延など) を発症する可能性があります。

【MR ワクチンについて】

麻疹ウイルス、風疹ウイルスを弱毒化してつくった生ワクチンです。

第Ⅰ期の接種で95%以上のお子さんが免疫を得ることができます。

免疫獲得が不十分であった場合と、年数が経って免疫力が下がることを防ぐために第Ⅱ期接種が行われます。

副反応として接種から7～12日後に38℃前後の発熱や発疹がみられることがあります。熱は1～2日で下がります。接種部位が赤く腫れたり熱を持つことがあります。数日でおさまります。

まれですが、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳炎、痙攣などの報告もあります。

【接種方法】 ワクチン0.5mlを皮下に接種します。

【定期接種できる期間】 第Ⅰ期 生後12か月から24か月になる日の前日まで

第Ⅱ期 5歳以上7歳未満 小学校就学前の一年間 (4月1日～3月31日)

【スケジュール】 Ⅰ期 Ⅱ期 それぞれ1回ずつ接種します。

【接種費用】 無料 (23区内の予防接種予診票を持参し、記載された有効期限内であれば公費負担)

ただし23区内の予診票を持参しないで接種 対象年齢を超えての接種

指定医療機関以外での接種 規定の回数を超えての接種 是有料

【持参するもの】 予防接種予診票 (体温以外の項目をあらかじめ記入しておいてください。)

母子健康手帳

※すでに麻疹または風疹にかかった場合でもMRワクチンを接種して差支えありませんが、かかっていない病気に対する単独ワクチンを接種することもできます。

※MRワクチンはニワトリ胚培養細胞を用いて麻疹ウイルスを増殖させていますが、卵そのものは使用しておらず、卵アレルギーを理由に接種できないということはありません。ただしワクチンに含まれる他の成分によるアレルギー反応を起こすことがありますので、卵に限らず強いアレルギー症状を有する方は医師に相談してください。